

特別養護老人ホーム 杏樹苑滔々館

(杏樹苑滔々館短期入所事業所含む)

1、総括

杏樹苑滔々館は、通年での感染予防を継続しながら個別化された住環境を生かし杏樹苑滔々館の理念である「自然」「共感」「共存」の視点を大切に事業運営に努めて参りました。全体や各ユニット単位、個別の趣向に合わせたイベントや趣味活動も計画的に実施することが出来ました。事業所内外との各種連携に関しましては、参集やオンライン各種形式を用いることで充実を図って参りました。職員の資質向上に関しては、研修計画を基に内外の参集型研修への参加機会を持ち職員個々に研鑽を図ることが出来ました。杏樹苑滔々館は、ショートステイが併設されておりますので、外部との繋がりが切り離せない環境ではありますが感染症の集団発生などなく事業運営を図ることが出来ました。

利用実績に関しましては、年度前からの稼働率低下から稼働率が回復せず厳しい運営となりましたが、年度後半にかけて特養・ショートステイ共に安定的に入居希望者を確保することが出来ました。入院者に関しましては、年度を通じて抑えることが出来ております。これは、質の高い他職種連携が継続できたことが最大の要因と考えております。引き続き「暮らしの継続」が提供できる施設運営を図ってまいりたいと思います。

2、重点取組の成果と課題

重点取組実施項目	実施内容と成果について	次年度への課題
快適な環境	通年で感染対策を行いながら、外出機会を提供出来た。苑内での買い物場を計画的に提供する事で楽しめる空間づくりに努めた。	施設全体のイベントの継続と外出機会を増やし、個々の要望に合わせた対応も行い楽しめる環境を提供していきたい。
充実と満足	各種会議で多職種と協議しケア見直しやアセスメントをする事で、ケア統一を図る事が出来た。	引き続き個別ケアに努めて、新しい職員にもケアの統一を共有できるようにする。
健康と安全	入居者およびご利用者一人ひとりの「その人らしさ」を大切に、健康管理を行いながら QOL の向上を図るために、多職種と連携し、適切なケアと医療の提供を行うことができた。 看護学生の実習受け入れを行い未来の施設看護の育成に貢献した。	入居者およびご利用者一人ひとりの「その人らしさ」を尊重し、健康管理を通じて QOL の向上を図るためには、今年度を実施した多職種連携によるケアと医療提供をさらに発展させていく必要がある。感染対策についても維持向上を目指していく。
奉仕活動団体等の受け入れ	手芸や傾聴、各世代の学生のボランティアを受け入れ、活動いただくことが出来た。コンビニエンスストアの来苑販売も実施しました。	ボランティア受け入れ後の確認や受け入れ時に施設側の相談窓口を明確にし、ボランティアの方が活動しやすい環境を整える。
職員の資質向上	集合型の研修の開催を継続し、課題を設けることで職員に考える機会を作ることで、身のある学び場を設けることができた。	集合、オンラインなど様々な形の研修の計画と確実な実施に課題があるため、全体的なスキルアップを目指して行きたい。
外部機関との連携	看取りでの退所者が多くあり、ご家族様と協力し合い施設内での連携した取り組みが出来た。主治医との連携もできたことから安心感を得られ相談することも多くなった。ショートステイ利用者で感染症からの入院者もあり、利用が終了したことが数件あったが営業活動にて新たな居宅との繋がりを持つことができた事は成果と考える。	医療度が高くなり、療養型への転院を検討する中、主治医のみならず、医療機関との連携を充実させなければ、入居者並びに利用者の方々に安心して生活して頂くことが出来ないと考える。施設での生活を知って頂けるようにホームページの充実、SNS 活用などを行い、外部に発信することで、特別養護老人ホームを知って頂ける機会が増えることを期待する。
業務連携	メールなどデータでの共有が定着しペーパーレス化を進めることが出来ました。PDCA サイクルでの報告を行う事で、効率的な記録の入力や、やり取りが出来るよう図った。	更にペーパーレス化を定着させ、引き続き PDCA サイクルを取り入れた情報共有や書式の統一を継続していく。

3、利用実績（入居定員 70 名 短期入所定員 20 名）

	特養 延べ人数	特養 稼働率 (%)	ショートステイ 延べ人数	ショートステイ 稼働率 (%)	新規入 居者数	退居 者数	入院者 延べ人数
4月	1,873	89.19	611	101.83	1	2	101
5月	1,961	90.37	605	97.58	1	2	46
6月	1,853	88.24	674	112.33	1	2	36
7月	1,887	86.96	702	113.23	1	1	77
8月	1,865	85.94	736	118.71	0	1	81
9月	1,761	83.86	727	121.17	3	4	67
10月	1,840	84.79	740	119.35	1	0	69
11月	1,760	83.81	762	127.00	0	1	79
12月	1,889	87.05	667	107.74	4	2	71
1月	1,954	90.05	554	89.35	2	0	72
2月	1,782	90.92	596	106.43	1	1	58
3月	2,040	94.01	634	103.39	1	0	36
合計	22,465 人	平均 87.93%	8,008 人	平均 109.84%	16 人	16 人	793 人

4、事業実績

オンコール出動件数	11 回
面会者延べ人数	2,071 人
入居相談件数	53 件
ボランティア等受け入れ総数	35 人
実習生等受け入れ総数	12 人
虐待事例等受け入れ件数	0 件
ケアカンファレンス実施回数	139 回
サービス担当者会議実施回数	30 回
セーフティネット事業	21 件

開催委員会・会議（基本各月 1 回開催）
お食事会議・職員会議
衛生委員会・BCP 会議
リスクマネジメント委員会・優先入所検討委員会
身体拘束ゼロ推進委員会・虐待防止検討委員会
コンチネンスケア委員会・褥瘡予防対策委員会
感染症対策委員会
ユニット会議・ユニットリーダー会議
施設サービス部会議

行事報告

月	内 容	備 考
令和7年 4月	開設記念日（1日）、買い物外食ツアー（15日） 外出レク（24日）誕生日会（28日）	
5月	菖蒲湯週間（4/30～5/3）、美味しい新茶を飲もう（5日） 鯉のぼりを見に行こう（5日）お散歩レク（13日） 誕生日会（7日）	
6月	お蕎麦の会（11・14日）梅雨のドライブツアー（24日 26日） 衣類販売（21・22日）コンビニ販売（30日） 誕生日会（28日）	
7月	七夕祭り（7日）、流しそうめんの会（22・25日） 夏野菜を食べる（16日）鰻を食べよう（31日） 誕生日会（21日）	感染症対策の実施
8月	夏祭り（19日）、花火大会（29日） スムージーを飲む（15日） 誕生日会（31日）	夏祭り杏樹苑・ 滔々館全体で 開催
9月	防災の日（1日）、さんまを食べよう（30日）敬老会（15日） 誕生日会（10・28日）	
10月	大運動会（29日）誕生日会（10日） 秋の味覚を楽しもう（14日）	大運動会は杏樹 苑・滔々館全体 で感染症対策の 上実施
11月	芋煮会（4日）公演を散策しよう（10日）衣類販売（8・9日） 買い物外出ツアー（1日）誕生日会（16日）	
12月	ゆず湯週間（21～27日）誕生日会（20日） クリスマス会（24・25日）、大忘年会（29日）	
令和8年 1月	初日の出を見る会（1日）、おせち（1日） 鏡開き（9日）誕生日会（20日） 初詣に行こう（14日）	近隣の神社に 初詣
2月	節分（3日）、コンビニ販売（20日）、誕生日会（13日）	
3月	雛祭り（3日）、桜を見に行こう（25・30日） 誕生日会（14日）	
<p>・その他サークル活動・通年実施行事等 体操教室（月曜日～金曜日 午前中） おしゃれクラブ（月曜日 午後） フラワーアレンジメント（火曜日 午後） 書道・絵手紙教室（木曜日 午後） 脱力ヨガ（金曜日 午後） 午後みんなで運動（不定期） みんなで唄う会・映画鑑賞（不定期）</p> <p>・行事实施成果と次年度への課題（反省点） 今年度も感染対策を重視しながら、それぞれのフロアで外出する機会も増え、また施設全体での行事にも取り組むことが出来たと思う 次年度も、引き続き感染対策は考えながら、個々人の希望に沿った取り組みが出来ればと思います</p>		